

## 南部ベトナムの木工業の現状(1)

南部ベトナムはベトナムの木材工業の過半が集中している地域である。当該地域における木材および木材製品の生産および取引を担う企業について、代表例を報告する。

### 1. Sadaco Binh Duong Furniture Company

Sadaco は、2009 年に設立されたビンズオン省トゥアンアン市に所在する木製家具の製造と輸出を行っている会社であり、工場面積は 11,000m<sup>2</sup>、生産能力は月間 10 コンテナである。主な製品は、国産のアカシア材及び南米やオーストラリアから商社を通じて輸入したユーカリを使用したテーブル、椅子、ベッド、キャビネットなどの屋内および屋外用品であり、主要市場は米国である。コロナ以前の安定は従業員数 400 人を擁していたが、現在は 100 人に減っている。

同社はドンナイ省スアンロク地区に 11ha の土地を所有しており、拡張の準備を進め、事業パートナーを探している。同社は、日本からの木材の輸入、加工、日本への輸出までを一貫して行う方式が可能な日本側パートナーと協力したいと考えている。また、同社はベトナム市場向けの日本式木造住宅製品にも非常に関心を持っている。

### 2. JAF Global Vietnam Co., Ltd.

JAF Global VN 社は、2012 年にオーストラリアから来た HCM 市に所在する木材貿易を行う企業である。主な製品は、パイン、オーク、トネリ、クルミ、ポプラなどの製材、サーモ加工材、合板である。使用する木材はドイツ、クロアチア、ウクライナ、アフリカなどのヨーロッパ諸国から輸入されており、ほとんどは FSC 認証を取得している。製品の主な市場は国内であり、一部は中国向けとなっている。

同社では一部丸太の販売も行っているが、倉庫を通さずに直接配送している。生産能力は年に約 3000~4000 m<sup>3</sup>である。同社は、ベトナムの木材市場が主に広葉樹を必要としていると考えており、日本のパートナーと提携する用意もある。

### 3. Japan New Furniture Viet Nam Co.,Ltd.

ジャパンニューファニチャーベトナム社は、2014 年に日本から来たビンズオン省に所在する家具会社である。工場面積は約 5.3ha で、従業員 770 人、生産能力は月間 10 コンテナである。同社の製品は主に日本へ輸出される。同社では、ボードの表面をカラー印刷により天然の木目のように装飾している。芯材は MDF、PB、日本製ペーパーボードの 3 種類で、プリント基板の幅は 60cm である。この技術により、顧客の要望に応じて、さまざまな天然木の木目を作り出すことができ、机、ベッド、こたつテーブル、ダイニング家具等を製造している。